

【学校教育目標】 お互いを大切に、主体的に学び続ける児童の育成



# みながっ子

わかる できる かわる たのしい学校

【校訓】  
かしこく  
やさしく  
たくましく  
やりぬく

三 永小学校の校章がどうしてこのような形になったのか  
昔の資料を見たり、地域の方に聞いたりして調べてみました。

中に三つの丸があります。これは三永の「三」です。  
まん中にある「永」は三永の「永」です。  
周りのひし形のような形を作っているのは福成寺の松葉です。  
松の緑色はずっと変わりません。松葉を4本集めています。  
三永小学校がずっと続きますようにという願いがこめられているそうです。



4つ集まっているのは三永小学校の校訓「かしこく」「やさしく」「たくましく」「やりぬく」の4つの言葉であるともいえます。

校章のまわりは八角形のような模様で囲まれています。これは鏡ではないかといわれているそうです。  
三永には池がたくさんあります。池の水が輝いていることから、輝くものの象徴として鏡を入れているのだそうです。そこには三永小学校の子供たちがみんなが光り輝き活躍する学校でありますようにという願いがこめられています。

名札にも付けられている校章には、このような意味がこめられています。調べていくうちに「私は三永小学校の子どもです」という自信と誇りを持ってほしいと思いました。

## 集団宿泊的行事（修学旅行・野外活動）について

ここ3年半のコロナ禍で、修学旅行や野外活動に行くことが当たり前ではない時期が長らく続きました。東広島市内の小中学校でも、修学旅行がやむなく中止になるなど苦渋の選択をせざるを得ない学校もありました。今年度、本校6年生は修学旅行を5月25・26日、5年生は野外活動を6月26・27日に実施することができました。保護者の皆様の実施に至るまでのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

- 学習指導要領「特別活動編」によると、集団宿泊的行事の目標は、
- 自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむ
  - よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにする とされます。

国立の調査機関が行った「青少年の体験活動等に関する意識調査」では、「子どもたちが自然体験を深めることで自己肯定感が高くなり、自立的行動や探求力が身につく傾向にある」と示されています。

修学旅行では、初めのころはついつい引率教員に、次の行程を尋ねてしまうことが多かったのですが、次第に自分から「修学旅行のしおり」を見ている姿を見るようになりました。  
集団宿泊的行事は生徒指導の連続ですが、子どもたちは集団で行動することに慣れていき、引率教員の指示なく動いたり、友だちと折り合いをつけながら協力して動いたりする姿が増えていきました。

## 初夏の子供たちの学びのようす



【1年生】水って楽しいよね。水をこわがらないで楽しむのがいちばん



【2年生】「人に伝える勉強法」は、学びを深める良いアウトプット



【3年生】東広島市社会福祉協議会の方々にお越しいただいた「車いす体験」。何気ない段差が、移動の困難さにつながることを体験



【4年生】青木川の生き物調査 ふだん何気なく見ている青木川の生き物を調べ、自然環境について考えます。



【5年生】野外活動「ふくやまふれ愛ランド」暑さに耐え、炎をおこす



【5年生】野外活動 幻想的なキャンドルサービス 仲間とのつながり実感



【6年生】社会見学「広島市こども文化科学館」プラネタリウム しばしの宇宙旅行人はちっぽけな存在



【6年生】社会見学 平和公園 核兵器が使われるリスクが高まっている今こそ しっかり学ぶ時

明日から子どもたちは夏休み。それぞれのご家庭や地域で、学校だけでは体験できない貴重な体験をし、夏休み明けには、また一回り大きくかわって学校に戻ってきてくれることを願っています。